

この子の命は、繋がった 手の数で守られる。

第7回

九州 小児在宅 医学会

～医療的ケア児者のための

地域で支える防災～

2026年

7月18日(土)

13:00～17:00

【テーマ】地域防災における医師の役割を考える

【開催形式】

対面+オンライン同時配信(+後日オンデマンド配信)

【会場】

熊本大学病院 くすのきテラス 3階 大会議室

【参加費】 無料

※この取り組みを未来につなげるため
ご賛同いただける方からのご支援
(応援チケット 1,000円)を募っております

【対象】

小児在宅医療に関心のある方ならどなたでも

【申込方法】

[左下QRコード](#)か下記URL
(当学会HP)よりお申込み下さい

【申込締切】

7月13日(月)

●冒頭動画出演

日本小児在宅医学会 理事長
(医療法人財団はるたか会 理事長) 前田 浩利

●オープニング講演

座長：らららこどもクリニック 院長 (鹿児島県)

渡邊 健二

「医療的ケア児の防災は、小児周産期リエゾンが進める」

熊本県医療的ケア児支援センター

副センター長 小篠 史郎

座長：長崎県医療的ケア児支援センター「つなぐ」

センター長 岡田 雅彦

「一人で避難は難しい。だから、つながる。」

～医療的ケア児の防災さんぽ～

熊本県医療的ケア児支援センター

統括医療的ケア児等コーディネーター 宅島 恵子

●招待講演

座長：熊本県医療的ケア児支援センター

副センター長 小篠 史郎

「地域と医療をつなぐ防災のかたち

～住民として、医師として地域防災に向き合ってみてきたこと～」

国立病院機構 愛媛医療センター 小児科医長 桑原 こずえ

●シンポジウム

座長：熊本県医療的ケア児支援センター

小篠史郎・宅島恵子

「医師と地域住民が連携して取り組む地域防災

～医療的ケア児から高齢者まで～」

・まえだクリニック 院長 (熊本県) 前田 淳子

・八代市第3地域包括支援センター (熊本県)

センター長 中田 秀博

・坂ノ市病院 小児科 (大分県) 長濱 明日香

・はながしま診療所 院長 (宮崎県) 澤田 一美

●総合討論



主催：九州小児在宅医学会
一般社団法人てととココロ
共催：熊本小児在宅ケア・人工呼吸療法研究会
熊本県医療的ケア児支援センター
熊本大学病院小児在宅医療支援センター

【問い合わせ先】 096-373-5653

(熊本県医療的ケア児支援センター)

syouni.zaitaku@kuh.kumamoto-u.ac.jp

<https://sites.google.com/view/kyushushouniza/>